

アカデミック・ライティングサポートデスク担当者からのおすすめ

■石黒圭 (2016) 『「接続詞」の技術：書きたいことがすらすら書ける』実務教育出版

【出版社 HP】 <https://books.jitsumu.co.jp/book/b239603.html>

約 340 の接続詞を機能別に分類し、それぞれについて具体的に働きを説明しています。例文もあって、似ている接続詞の使い分けを知りたいときに大いに役立ちます。

■川崎剛(2010) 『社会科学系のための「優秀論文」作成術 ―プロの学術論文から卒論まで―』勁草書房

【電子ブック】 <https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000033036?3>

政治学、経済学、社会学などの社会科学の分野での論文の「型」について、明確に示し、丁寧に説明しています。3つのP (Project, Problem-solving, Persuasion)を念頭に置くことの大切さを述べた上で、どうやって論文の骨格を作っていくか、細部を仕上げていくかを示しています。学術雑誌投稿論文、博士論文、修士論文、卒業論文の段階的な違いを整理し、それぞれの「攻略法」もわかりやすく書かれています。

■河野哲也(2018) 『レポート・論文の書き方入門 第4版』慶應義塾大学出版会

【YNU 図書館】 <https://opac.lib.ynu.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BB26507199?hit=3&caller=xc-search>

【電子ブック】 <https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000061483>

第2章「テキスト批評という練習法」が特におすすめです。レポート・論文のテーマ設定とテーマに関する問題設定の練習として、テキスト批評の手順を詳しく説明しています。書評レポートを書く際にも参考になります。

■小森万里・三井久美子 (2016) 『ここがポイント レポート・論文を書くための日本語文法』くろしお出版

【YNU 図書館】 <https://opac.lib.ynu.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BB22817128?hit=1&caller=xc-search.ac.jp>

【電子ブック】 <https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000040792>

例えば「～よると／～によって」「～に関して／～に対して」などの助詞相当語の使い分け、「は／が」の使い分け、自他動詞の使い分けなど、日本語で文を書くときに間違いやすい事柄や苦手なところを取り出して練習するのに便利です。

■佐々木瑞枝・細井和代・藤尾喜代子 (2006) 『大学で学ぶための日本語ライティング 短文からレポート作成まで』 The Japan Times

【出版社 HP】 <https://bookclub.japantimes.co.jp/ip/book/b309580.html>

初めて長い文章を書く人や、ライティングの基礎を学び直したい人におすすめのテキストです。まず、「です／ます体」を使った比較のカジュアルな短い文の練習から始まります。その時に、情報を整理してわかりやすい文を書くことも練習できます。

また、文や段落(paragraph)を接続する練習をしながら、長い文を書くことに慣れていきます。文のつながり方や接続詞の使い方などを知りたい人に、いい練習になると思います。最終的には、レポートなどのアカデミックな文が書けるように構成されています。中級の人と、上級前半で文を書くのが苦手な人向けのテキストです。

■佐渡島沙織・オリベイラ, ディエゴ・嶋田大海・デルグレゴ, ニコラス (2020) 『レポート・論文をさらによくする「引用」ガイド』大修館書店

【YNU 図書館】 <https://opac.lib.ynu.ac.jp/opac/recordID/catalog.bib/BB3113084X?hit=10&caller=xc-search>

【出版社 HP】 <https://www.taishukan.co.jp/book/b506030.html>

レポートや論文を書くときに必要な「引用」の意義と方法に焦点を当てたテキストです。書式(APA、MLA、シカゴ、IEEE)やルールその他、効果的な引用についても解説しています。サンプル文章つきで、どう引用を記述すればいいかが具体的に分かります。

■二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子 (2009) 『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版会

【YNU 図書館】 <https://opac.lib.ynu.ac.jp/opac/recordID/catalog.bib/BB00559867?hit=4&caller=xc-search>

【出版社 HP】 <https://www.utp.or.jp/book/b306014.html>

アカデミックな文章に使われる表現を解説したハンドブックです。265 の文型、78 の接続表現が、項目ごとに分類され(例:「研究の対象と背景を述べる」「先行研究の提示をする」「これまでの考察の要点を整理する」など)、実例とともに使い方が示されていて、辞書のように使えます。文章にはすべて振り仮名がついており、主要な部分は英語の説明もあります。

引用の仕方や、文献の示し方についても、コラムとしてわかりやすくまとめられています。

レポートや論文を書きながら、「こんなときは、どんな表現を使ったらよいのだろうか」と迷ったときに、手もとにあると役に立つ一冊です。